

ばれいしょ定性試験法(リアルタイム PCR 法)

1 検査方法

厚生労働省通知「安全性未審査の組換えDNA技術応用食品の検査方法について」に基づいて定性試験を実施します。

2 対象品種

F10, J3, Y9及びX17

3 分析試料の範囲

生鮮ばれいしょ及びばれいしょ含有食品

4 検査結果

「陽性」又は「陰性」としてご報告します。定量試験ではありませんので数値は得られません。

5 検体必要量

生鮮ばれいしょの場合は10個以上、ばれいしょ含有食品の場合は120 g以上をご用意ください。検体量が少ない場合はご相談下さい。

6 検査に影響を及ぼす成分

検体中にDNA抽出やPCRを阻害する物質が含まれる場合、検知不能となることがあります。検査結果に影響を与える物質は多種存在しますが、すべての物質が明らかにされているわけではありませんので、ご依頼をいただいた段階で検査結果(検知不能)を予測することは出来ません。また、ばれいしょデンプン(例: 片栗粉など)やばれいしょデンプンを加工した製品(例: 春雨など)は、DNA含有量が少ないため、検知不能になることがあります。「検知不能」となった場合でも規定の検査料金を申し受けます。

以 上